環びわ湖大学・地域コンソーシアム

単位互換制度

他大学の授業を受講して単位を取得しよう！

キャンパスライフに彩りを

単位互換制度とは？

滋賀県内にある大学や短期大学の科目を履修し、それを所属大学・短期大学の単位として認定する制度です。所属大学・短期大学の定める範囲において、受講料無料で単位互換科目を受講することができます。
（ただし、科目により所定の実習費が必要な場合があります。）

- 滋賀大学（大津キャンパス）
- 滋賀大学（彦根キャンパス）
- 滋賀医科大学
- 滋賀県立大学
- 滋賀短期大学
- 滋賀文教短期大学
- 成安造形大学
- 聖泉大学
- 長浜バイオ大学
- びわこ学院大学
- びわこ成蹊スポーツ大学
- びわこリハビリテーション専門職大学
- 立命館大学
- 龍谷大学

一般社団法人
環びわ湖大学・地域コンソーシアム
〒520-0056 滋賀県大津市末広町1番1号日本生命大津ビル4階
TEL:077-526-8850 FAX:077-526-8851

詳しくは右記 QR コード。または環びわ湖コンソで検索

環びわ湖コンソ 検索

単位互換制度ってなに？

滋賀県内にある大学や短期大学の科目を履修し、それを所属大学・短期大学の単位として認定する制度です。所属大学・短期大学の定める範囲において、受講料無料で単位互換科目を受講することができます。（ただし、科目により所定の実習費が必要な場合があります。）

他大学

他大学の授業を受けて単位を取得！

単位互換

自分の大学

所属大学の単位として認定！

受講申し込みの流れ

STEP1
科目を選ぶ
（3月下旬～4月上旬）
パンフレットやホームページの科目情報を参考に、受講したい科目を選択しよう。

STEP2
出願手続き
（4月上旬）
受講したい科目に出願しよう。お申込み方法は所属大学の案内を確認してください。
※開講時期にかかわらず、すべての科目が出願受付の対象です。
※申込期限は所属大学により異なります。所属大学からの案内を確認してください。

STEP3
受講許可発表
（4月中旬）
出願者多数の場合は選考を行います。受講許可の発表は所属大学を通じて行われます。

STEP4
受講する
他大学の授業に出席しよう。
※前期・春学期科目等、履修許可発表が授業開始に間に合わない場合は許可発表まで仮受講をしてください。

追加募集
（5月頃～）
夏期集中・秋学期・後期科目のうち、受講定員に余裕のある科目を対象に追加募集を行います。8月頃に再追加募集を行うこともあります。

おうみ学生未来塾 開講（大学連携型 PBL 科目）

環びわ湖HP

滋賀県立大学
おうみ学生未来塾（湖東）
「いま、ここにあるめぐみを活かす地域デザイン」

成安造形大学
おうみ学生未来塾（湖西）
「地域を知ることの大切さを学ぶ」

- ☑ 豊かな自然と歴史、都市から農山漁村までさまざまな地域の特徴をもつ「おうみ」（滋賀県）をフィールドに、地域に出かけ、地域の人々と話し合って、課題を発見し、具体的な解決をめざすトレーニングを行います。実践的な課題解決能力、コミュニケーション能力を向上させ、自ら未来を切りひらく力を高めることができます。
- ☑ 滋賀県内の大学・短期大学に所属する学生は、だれでも受講できます。対象は、四年制大学が2年次以上、短期大学が1年次以上です。
- ☑ 受講料は無料です。ただし、現地までの交通費などが必要です。
- ☑ 2科目のうち、どちらか1科目のみ出願できます。

2025年度提供科目リスト（1/2）

大学名	開講キャンパス	科目番号	科目名	開講期間	曜日時限	実施方法
滋賀大学	大津	1	日本と世界の文化	春学期集中		対面授業
	彦根	2	経営学からの問い	春学期	火2	対面授業
		3	歴史からの問い	秋学期	月5	対面授業
滋賀医科大学		4	医療イノベーションの基礎	前期	水3	対面授業
滋賀県立大学		5	おうみ学生未来塾（湖東）	前期集中	-	対面授業
		6	SDGｓと滋賀のグローカル・イノベーション -近江の暮らしとなりわい-	前期集中	-	対面授業
		7	地域コミュニケーション論	後期集中	-	対面授業
		8	びわこ環境行政論	後期	月4	対面授業
		9	地域産業・企業から学ぶ社長講義	後期	月4	対面授業
滋賀短期大学		10	近江学入門	前期	木1	対面授業
		11	数の不思議	後期	木1	対面授業
		12	地域づくり論	後期	金2	対面授業
滋賀文教短期大学		13	地域の歴史と民俗文化	春学期	金2	対面授業
成安造形大学		14	おうみ学生未来塾（湖西）（近江学A）	前期集中	-	対面・遠隔併用
		15	東洋・日本美術史概説Ａ	前期	火1	対面授業
		16	東洋・日本美術史概説Ｂ	後期	火1	対面授業
		17	西洋美術史概説Ａ	前期	水1	対面授業
		18	西洋美術史概説Ｂ	後期	水1	対面授業
		19	デザイン史概説Ａ	前期	木1	対面授業
		20	デザイン史概説Ｂ	後期	木1	対面授業
聖泉大学		21	ペアレンティング論	前期	金4	対面授業
		22	基礎看護論	前期	金2	対面授業
		23	哲学	後期	金5	対面授業
		24	成人看護論	後期	木3	対面授業
長浜バイオ大学		25	生物学基礎	前期	水2	対面授業
		26	基礎微生物学	前期	火1	対面授業
		27	遺伝子工学	後期	金1	対面授業
		28	近江でのSDGsの実践	後期集中	土日	対面授業
びわこ学院大学		29	子ども学総論	春学期	水3	対面授業
		30	滋賀の環境	秋学期	火1	対面授業
		31	スポーツ生理学Ⅱ	春学期	金2	対面授業
		32	メンタルトレーニング論	春学期	火1	対面授業
		33	レクレーション論	春学期	水5	対面授業
		34	生活と福祉	秋学期	月1	対面授業

2025年度提供科目リスト（2/2）

大学名	科目番号	科目名	開講期間	曜日時限	実施方法
びわこ成蹊スポーツ大学	35	栄養と健康	前期		遠隔授業
	36	スポーツ社会学概論	後期		遠隔授業
	37	レジャー・レクリエーション論	前期		遠隔授業
	38	スポーツバイオメカニクス概論	前期		遠隔授業
びわこリハビリテーション専門職大学（八日市）	39	神経科学総論A	前期	金1	対面・遠隔併用
	40	神経科学総論B	後期	火3	対面・遠隔併用
立命館大学	41	薬学概論	春学期	火1	対面授業
	42	経済学特殊講義Ⅱ（金融・証券分析基礎）	夏期集中	-	対面授業
	43	近現代の科学技術（G1）	春学期	火3	対面・遠隔併用
	44	生命科学概論	春学期	月5	対面授業
	45	スポーツマネジメント概論	秋学期	木4	対面授業
龍谷大学	46	植物生理・生化学Ⅰ	後期	水1	対面授業
	47	食と嗜好の科学	後期	月2	対面授業

※授業の情報は変更になる可能性があります。
　出願時や受講前に所属大学からの案内を確認してください。

各科目の詳細は
こちらをチェック

環びわ湖HP

「おうみ学生未来塾」（2025年度） 受講案内

未来を切りひらく力を高めませんか？

1、「おうみ学生未来塾」（大学連携型PBL科目）とは

☑ 豊かな自然と歴史、都市から農山漁村まで様々な地域の特徴をもつ「おうみ」（滋賀県）をフィールドに、地域に出かけ、地域の人々と話し合って、課題を発見し、具体的な解決をめざすトレーニングを行います。実践的な課題解決能力、コミュニケーション能力を向上させ、自ら未来を切りひらく力を高めることができます。

☑ 滋賀県内13大学・短期大学と地域の自治体などが協力し、地域で、他大学の学生と一緒に学び、交流する機会を提供します。

☑ 滋賀県内の大学・短期大学に所属する学生は、だれでも受講できます。対象は、四年制大学が2年次以上、短期大学が1年次以上です。

☑ 単位互換制度により所属大学・短期大学の単位として認定されます。

☑ 受講料は無料です。ただし、受講地までの交通費、合宿費などが必要です。

☑ おうみ学生未来塾科目は、1年に1科目のみ出願できます。

2、大学連携型PBL科目とは

☑ 「おうみ学生未来塾」は大学連携型PBL科目です。

たとえ知識を持っていても、いざ現実の問題に直面したら、どうしていいのかわからないのが普通です。PBL（Problem Based Learning）科目は課題解決型学習と呼ばれ、身近な問題や事例を素材とし、問題発見・問題解決に向けてチームで取り組む手法を用いた科目です。知識あるいは情報を補いながら、現実の問題解決に応用していくトレーニングをはじめ、チーム内で他者から学ぶ手法や他者と一緒に問題解決に主体的・能動的に関わろうとする態度を養うことができます。

☑ 多様な学生が集う大学連携型のメリット

滋賀県内には専門分野の異なる大学・短期大学が13校もあり、そこに学ぶ学生が、それぞれの視点や知識を持ち寄ることで、現実の問題を多面的に理解することができます。そこから多面的な解決策を提案し、最も効果的で実行可能なものを選択することができます。さらに、異なる大学・短期大学の学生と体験を共有し、コミュニケーションできることも大きなメリットです。

3、2025年度「おうみ学生未来塾」科目

① おうみ学生未来塾・湖東

いま、ここにあるめぐみを活かす地域デザイン

地域本来の力や資源を活かした地域づくり・地域再生を実現するための考え方と手法を実践的に学ぶ。具体的な地域再生の事例を参考に、フィールドワークやワークショップの企画、実施、地域再生策の提案までの過程に主導的に取組む。こうした実践を通して、フィールドワークやワークショップの技法、ファシリテーションの手法、地域課題の把握から解決策の提案までのノウハウを修得する。提案した内容が地域で実践されたり、人びととの対話をきっかけに地域での新たな活躍の場を獲得するなど、学生にとっても様々なチャンスにつながる機会になっている。また、滋賀県庁の研修プログラムにも位置付けられており、現役自治体職員と共に学びながら交流することもできる。

① 夏期3日間の集中講義として行う（2025年度は9月8日～16日の間で3日間開講）。
② 学生、院生混成によるチームを編成し、フィールドワークやワークショップに臨む。
③ 地域から提起されたホットでリアルなフィールドや課題に挑む。
④ 地域の方々と共に歩き、考え、具体的な企画・提案を作成する。

滋賀県立大学 提供

科目名　おうみ学生未来塾（湖東）（滋賀県立大学科目名「地域デザイン A」）
実施場所　滋賀県立大学、および滋賀県内連携自治体内
（過去のフィールド）多賀町大滝地区、長浜市尾上地区、大津市ナカマチ商店街 ほか
実施時期　9月8日、9日～15日の間で1日、16日 （9:00-18:00）
担当教員　滋賀県立大学 上田 洋平 講師・鵜飼 修 教授 ほか
授業テーマ 「いま、ここにあるめぐみを活かす地域デザイン」

到達目標　(1)様々な地域再生事業の概要及び実施手法について理解し説明できる。
(2) フィールドワークやワークショップにより地域の現状と課題について的確に把握し整理することができる。
(3) 地域資源を活かした地域再生事業を企画し提案することができる。

授業形態　1日目 座学・ワークショップ
2日目 フィールドワーク
3日目 チームごとに地域再生提案をまとめ、発表・講評

受講対象　大学2年次以上
短期大学1年次以上

成績評価　中間、最終レポート、プレゼンテーションにより評価する(100%)。

定員　30名

アクセス等　滋賀県立大学
※交通機関の条件が悪いフィールドへの移動は貸し切りバス等を利用する。

費用負担　大学および貸し切りバス等乗車集合場所までの交通費、昼食代は各自負担

②　おうみ学生未来塾・湖西

日本人の信仰のあり方と山村集落のコミュニティの現状と課題を考える（近江学 A）

成安造形大学が位置する近江（滋賀県）は中央に位置する琵琶湖とそれを囲むように連なる美しい山々という恵まれた自然環境を有するフィールドです。それだけでなく、古代から文化が形成されてきたために、多くの文化遺産を保有し、その伝統を今に伝えています。

この科目は、本学近くにある比叡山延暦寺と麓の門前町坂本をフィールドワークしながら、大津市が現在取り組んでいる歴史的風致維持向上計画を理解し、そのうえで、歴史的資源を活かした持続可能な活性化の取り組みを考えます。このように、伝統的な風習を残す地域を積極的に検証することで、21世紀に息づく普遍的な価値観を身に着け、自らの作品制作や未来の生活に生かすことを目的とします。

成安造形大学 提供

科目名	おうみ学生未来塾（湖西） （成安造形大学科目名 「近江学 A」）
実施場所	成安造形大学 大津市仰木の里東4−3−1 比叡山延暦寺・日吉大社・律院・滋賀院門跡・穴太衆積みなど
実施時期	9月集中講義（9月1日～9月4日）
担当教員	加藤賢治教授・仁連孝昭特別講師
授業テーマ	「地域を知ることの大切さを学ぶ」
到達目標	① 難解な日本の神仏のあり方についてわかりやすく理解できる ② 先人の知恵をたどり、今に伝えられる大切な事象を捉えて今に活かすことができる ③ どこの地域においても活かすことのできる普遍的な価値観を身につけることができる ④ フィールドワークを通じて地域の暮らしやコミュニティのあり方について考えることができる ⑤ グループワーク・ディスカッションを通じてまとめる力や発表する力を身につけることができる
授業形態	1日目 ガイダンス フィールドワークの概要と目的（オンデマンド配信） 2日目 比叡山延暦寺 三塔（東塔・西塔・横川）をめぐる 3日目 延暦寺の麓、門前町坂本のフィールドワーク 4日目 大学にてグループディスカッションと発表

受講対象	大学2年次以上 短期大学1年次以上
成績評価	授業態度50%・レポート評価30%・プレゼンカ評価20%
定員	若干名
アクセス等	成安造形大学 現地集合の場合は別途案内する。
費用負担	集合場所までの交通費、入館料等（1,000円程度）

4、出願から成績評価まで

1. 履修計画を立てる（3月～4月上旬）

受講案内や科目開講大学で開かれるガイダンスなどで、授業スケジュール（開講曜日、時限）、授業実施場所などを確認のうえ、受講したい科目を選んでください。

シラバスは、コンソーシアムホームページで3月上旬に公開予定です。

2. 出願（4月上旬～中旬）

環びわ湖大学・地域コンソーシアムホームページより出願票をダウンロードし、受講したい科目名と志望理由などを記入して、所属大学に出願します。

科目によっては、履修許可発表が授業開始に間に合わない場合がありますので、許可発表までは仮受講してください。

3. 許可発表

科目開講大学で選考され、選考結果は所属大学・短期大学を通じて4月末頃までに通知されます。出願した場合は、必ず所属大学・短期大学に確認してください。

許可発表の後、科目開設大学・短期大学によっては「特別聴講生証」発行などの手続きが必要な場合がありますので、科目開設大学・短期大学の指示に従ってください。また、受講は原則として無料ですが、実習費、演習費が必要な科目については、履修許可の後で、科目開設大学・短期大学の指示に従って納入してください。

4. 追加募集（6月頃）

夏季集中科目で受講定員に余裕がある場合は、6月頃に追加募集を行います。追加募集の許可発表は7月上旬頃の予定です。詳しくは所属大学・短期大学、環びわ湖大学・地域コンソーシアムホームページで確認してください。

5. 休講、補講、教室変更等の連絡

休講等の連絡は、原則として科目開設大学・短期大学から所属大学・短期大学に通知します。所属大学・短期大学で各自確認してください。

6. 試験・レポート提出等

単位互換科目の試験・レポート提出等に関しては、所属大学の期間と異なることがあります。必ず科目開設大学の単位互換担当窓口や掲示・案内などで確認してください。

7. 成績評価・単位認定

単位互換科目の成績通知の時期や単位認定の時期（学期末・年度末）は所属の大学・短期大学により異なりますので所属の大学・短期大学に確認してください。

5、よくある質問

1.　授業の詳しい内容を知りたいです。

環びわ湖大学・地域コンソーシアムホームページからシラバス（科目一覧）を確認してください。シラバスは3月上旬公開予定です。

2.　「おうみ学生未来塾」は誰でも参加できますか？

環びわ湖大学・地域コンソーシアムの単位互換制度を使っているので、滋賀県内の大学・短期大学に所属している学生であれば誰でも受講できます。ただし、4年制大学の場合は2年次以上の学生であることが必要です。

3.　どのようにすれば、「おうみ学生未来塾」を受講することができますか？

シラバスに記載されている授業や活動の日程・実施場所等を確認し、参加が可能であることを確かめた上で、環びわ湖大学・地域コンソーシアムのホームページから出願票をダウンロードして、志願理由などを記入の上、所属大学・短期大学から出願してください。

4.　開講日や提供大学が異なる複数の「おうみ学生未来塾」を出願することは可能ですか？

科目運営の都合上、同一年度に「おうみ学生未来塾」を複数科目出願することはできません。よく考えた上で、一科目のみ出願してください。

5.　追加募集（6月）で出願はできますか？

夏季集中科目で受講定員に余裕がある場合は追加募集されますので、出願できます。その場合でも、同一年度に複数のおうみ未来塾科目を出願することはできません。

6.　授業に関わる専門的な知識や技能がないのですが、受講できますか？

受講可能年次（学年）の制限や、必要な専門技能等の条件がある場合は、シラバスに記載されますので、それらを確認の上、出願してください。
受講条件に関する記述がない場合は、年次や専門的力量の有無に関係なく受講できます。

7.　受講料等の負担はありますか？

基本的に受講料等は無料ですが、実習費、演習費が必要になる場合があります。また、現地までの交通費やフィールドワークの場合の合宿費等は自己負担となります。詳しくはシラバスを確認してください。